

kanagawa ARTS PRESS

神奈川芸術プレス Vol.131

8 | 9
2016



撮影:末武和人

CREATOR'S VOICE 150
スガダイロー 白井晃演出「マハゴニー市の興亡」

夏休みはキッズの劇場&音楽堂デビューの季節！
KAAT Dance Series 2016 首藤康之 “DEATH” 「ハムレット」
祈りの音楽に聴く、オルガンの真理

隔月刊:奇数月15日発行

観客も舞台に参加して、マハゴニー市民になって、
それでみんなが考えていくというような劇になっていくと思います。
ヤジとかも飛ばしていいんじゃないかな。

白井 晃演出 「マハゴニー市の興亡」

KAAT 神奈川芸術劇場

スガダイロー

ピアニスト / 作曲家



超絶技巧、ハイテンションかつ鋭利な
即興。圧倒的なパフォーマンスで注目の
フリージャズ・ピアニスト、スガダイ
ローが、昨年の『ペール・ギュント』に続
き、今秋、プレヒト&ヴァイルの傑作『マ
ハゴニー市の興亡』の音楽監督を務める。
演出の白井晃との打ち合わせの後に、お
話をうかがった。

——白井晃演出『ペール・ギュント』での
手応えはどうでしたか。

刺激的な毎日で楽しかったです。
舞台音楽は初めてでしたので、最初は
戸惑ったんですけど、意外とできました
ね。上演中、毎回違う曲を仕込んだりし
ていました。俳優さんたちも意外と乗っ
てきて、即興でやってくるようになって、
悪ノリを仕掛けられてこちらが焦ったり
ということもありました。

ひとつの作品の音楽全部にかかわると
いうこと自体初めてでしたので、とても

刺激的だったんです。ただ『ペール・ギユ
ント』に入り込んでしまい、公演後2週
間ぐらいライブでちゃんと弾けなくなっ
てしまっって、ちょっと困りましたけど
(笑)。

——グリーグ作曲の『ペール・ギュント』
には縛られませんでしたか。

実は、グリーグの曲のことはすっかり
忘れていて。知らずに入ったのが良かつ
たのかもしれないですね。周りから「グ
リーグをどう超えるんだよ」とか言われ
ていたんですが、「知らないから、別なこ
とができるんじゃないの」みたいに思っ
ていました。

「朝」とかは小学校のときに創作ダンス
で使われていたので耳に付いていたんで
ですけど、稽古がだいぶ進んでから、あれ
はグリーグの『ペール・ギュント』の1曲
だったと気が付いたぐらいで……。公演
では、ソロ・ピアノで「朝」をグリーグへ
のちよっとしたオマージュで入れたりし



スガダイロー Dairo Suga

1974年生まれ、鎌倉育ち。洗足学園ジャズコースで山下洋輔に師事、卒業後米パークリー音楽大学に留学。帰国後「洪ざ知らズ」「鈴木勲OMA SOUND」で活躍、坂田明、森山威男、小山彰太、田中泯らとも共演。自己のトリオでの活動の他、向井秀徳、七尾旅人、中村達也、志人、灰野敬二、U-zhaan、仙波清彦、MERZBOW、吉田達也らと即興対決を行う。2008年『スガダイローの肖像』発表後、ポニーキャニオンから『スガダイローの肖像・弐』、Velvetsun Productsから『春風』(ソロ・ピアノ)、『詩種』(志人と共作)、『山下洋輔×スガダイロー』、『刃文』、『GOLDEN FISH』をリリース。



たんですよ。

——白井さんとのタッグはいかがでしたか。
白井さんは音楽にとってもこだわる方なので大変だよ、とミュージシャンたちから聞いていたんです。でも、これが最初だから大変かどうかもわかっていないまま、もうずっと、台本を全部覚えちゃうぐらい一緒にいました。で、譜面も全部覚えちゃうぐらい頭に入る。なかなかできない経験だったので楽しかったです。

それで、白井さんから『マハゴニー市の興亡』のオファーがあった時点で、すぐ「やります」って答えました。しばらく前から、決めてから考えるっていう主義にしましたよ。『マハゴニー』にはけっこう有名な「アラバマ・ソング」とかがあるんですけど、それが入ってることも知らずにお受けしました。

オペラへの挑戦

——原作はブレヒトの戯曲、ヴァイル作曲のオペラですが、公演では大胆な解釈をされるのでしょうか。

なかなか面白いというか、けっこう大変なことになっています。なるべくオペラにしなければならないようにしようということで、話がまとまりつつあるんです。

オペラって音楽だと思っんです。音楽に劇が付いているという。ヴァイルの音楽にはいい曲がたくさんありますが、それをなぞりだすと、結局、オリジナルのほうがよくなって、そのままやったほうがいいということになってしまう。だから、原曲につられないようにそこをどうにかして新しい解釈を見つけ出す、という話を話しています。

——音楽はどのように？

バンドは5人——サックス／バスクラリネット、トランペット、テューバ／ベース、ドラムス、ピアノ——かな。もともとオーケストラの音楽なので、けっこうな編曲が必要になってくる。なるべく自由に、という思惑があつて。

——『マハゴニー市の興亡』には「救い」がないですね。ヴァイルより一時代前のワグナーのオペラだったら最後に「救済」がありますが。

『マハゴニー』では救済がなされそうにはなるけれど、最後は結局、あつけなく死んだり、処刑されたりしますからね。

——マハゴニーは、指名手配中の逃亡犯、ベグビック、ファッティ、モーゼの3人が逃亡先の荒野に作った、酒・女・キャンブル三昧の、金があれば犯罪でもなんでも許される街です。この街の徹底的な拝金主義は、

白井 晃演出 「マハゴニー市の興亡」

2016年9月6日(火)~22日(木・祝)

KAAT神奈川芸術劇場〈ホール〉

作:ペルトルト・ブレヒト 作曲:クルト・ヴァイル 翻訳:酒寄進一

演出・上演台本・訳詞:白井 晃 音楽監督:スガダイロー 振付:Ruu

出演:山本耕史、マルシア、中尾ミエ、上條恒彦、古谷一行 他

本公演:S 8500円 A 7500円 B 5000円 3階席2000円

マハゴニー市民席(舞台上特設客席・自由席/入場整理番号付)5000円

U24(24歳以下)4250円 高校生以下1000円 シルバー(65歳以上)8000円

プレビュー公演:一般5000円 マハゴニー市民席(舞台上特設客席・自由席/入場整理番号付)3000円

今の時代にとっても切実な問題ですね。そこが課題なんです。どれだけ毒を持てるか、というところが。だからこそ、オペラ的なカタルシスは全部排除していかないと。オペラは一度忘れるぐらいの感でいかないと難しい、と思っています。――出演は、マハゴニーにやってくるアラスカの樵(しゅう)ジムに山本耕史、売春婦ジュニーにマルシア、3人の逃亡犯に中尾ミエ、上條恒彦、古谷一行と強力な俳優陣が揃っています。これまでに接点があった方はいらっしゃいますか。どなたとも接点はないんです。ただ、時代劇が好きなので、テレビでは拝見していました。NHK大河ドラマ『新選組!』は全部観ていましたから、山本さんはもう土方歳三だと思っていますし、中尾さんは『必殺仕事人』で、上條さんは『木枯し紋次郎』の主題歌を歌われていたし、古谷さんは筒井康隆原作の『ジャズ大名』という好きな映画の主人公だったんですよ。

観客はマハゴニー市民になる

――舞台設定は、原作と同じ1930年代になりますか？

どこでも、どの時代にも当てはまるような話になるんじゃないかな。

舞台のつくり方は、なかなか今まで見たことのないような「こんなこと本当できるの」っていうほど斬新な構想がなされています。

お客さんにはマハゴニー市の一市民になつて劇を観ていただき、そこでみんなが考えていく、そのぐらいの勢いです。みんなでチャレンジしていく劇になると思いますので、ぜひみなさんご参加を。多分、ヤジとかも飛ばしていいんじゃないかな(笑)。それぐらいみんなまで参加して作っていく劇になっていく感じなので、ぜひ体験しにきてください。

ブレヒトとヴァイルが出会った1927年のドイツでは、アメリカの好景気のもとに経済が復興。ジャズが流行しジョセフィン・ベーカーのチャールストン・ダンスが一世風靡していた。この時代の中でヴァイルは、新しい音楽への突破口をポップスであるキャバレー・ソングに見出し、『三文オペラ』やオペラ『マハゴニー市の興亡』を創り出したのだ。

そんなヴァイルと現代ジャズ界の最前線に立つスガダイローとの交差から、どんな音楽の進化形が誕生するのだろうか。必聴必見の舞台に乞うご期待。

my theater myself

私にとつてのKAAT神奈川芸術劇場

KAAT神奈川芸術劇場は、とてかく巨大ですね。まだここで迷いまずからね、僕は。そこがもうなんともぜいたくで楽しいです。この劇場は、まだまだいろいろな使い方ができる可能性を秘めている。とてもよく設計された、すごくいい施設なんだと思います。

それに、このスタッフは、「こんなことできるの」と投げかけたなら、「やってみようよ」と言ってくれそうです(笑)。

取材・文:川西真理 / 撮影:末武和人

WEBでも「プレス」が読める!
www.artspress.jp

WEB版だけのプラスα
コンテンツもいっぱい!

動画やインタビュー続編は...

このマークを
チェック!





「オルガン 夏休み子どもスペシャル」
中田恵子



「KAAT the ツアー
for キッズ!!」



「NOX (ノクス) ~夜のふしぎ~」 ©Yves Gabriel



「はくはグジグジ」

©Stephen A'court



「夏休み子ども ミラクルサマーマリンバ」
若見玲奈



夏休み・子どものためのプログラム

KAAT神奈川芸術劇場

神奈川県民ホール

神奈川県立音楽堂

想像力の翼を羽ばたかせて！ お芝居&音楽会デビュー！

夏休み。忘れられない子ども時代の出会いに、心がすっと背伸びする季節、劇場&音楽堂デビューはいかが？

KAAT神奈川芸術劇場、神奈川県立音楽堂、神奈川県民ホールの3館は子どもから大人まで、お芝居や音楽の楽しさを思い切り味わえる演出で一杯です。

開幕は恒例「KAATキッズ・プログラム2016」のラインナップから。

7月は劇作家・演出家の岡田利規が人気児童書を舞台化して大好評を得た「わかったさんのクッキー」の再演。

8月は初来日カンパニー2組による個性的な舞台。「はくはグジグジ」はニュージールランドを本拠地に、子ども向けに革新的なオリジナル作品を創作する「リトルドッグバークングシアター」が台湾の人気絵本を舞台化。主人公のグジグジの冒険を通し、家族の愛や「周りと違うこと」について考える、シンプルで美しい内容。「NOX夜のふしぎ」は来日が待望されていたベルギーの劇団「ラヌー・テアトル」が2012年に初演した作品。夜に起きる不思議な出来事をモチーフにして、子どもだけでなく、若者、大人まで幅広い年齢層に好評です。セリフを使わないため、ヨーロッパ各地でも上演を重ね、上演回数はすでに

夏休み・子どものためのプログラム

KAAT神奈川芸術劇場

KAATキッズ・プログラム2016

- おいしいおかしなおしばい「わかったさんのクッキー」
7月16日(土)~21日(木)〈中スタジオ〉
- 「ぼくはグジグジ」
8月9日(火)・10日(水)〈大スタジオ〉
- 「NOX(ノクス)~夜のふしぎ~」
8月12日(金)・13日(土)〈大スタジオ〉
- KAATのツアー for キッズ!
「ゾンビ・パニック!?
~ヘアメイクさんに起こった奇妙な出来事~」
8月12日(金)~14日(日)〈ホール〉
- 現代美術作家・山本高之さんと一緒に作るワークショップ
& 展覧会「横浜博覧会YES'89」〈大スタジオ〉
ワークショップ:8月18日(木)・19日(金) 成果展覧会:21日(日)
※6月15日(水)現在の情報です。詳細はHPで。



神奈川県立音楽堂

●三ツ橋敬子の「新☆夏休みオーケストラ！」

みんなでワクワク!編

8月13日(土) 15:00

※関連企画(無料・要事前申込) 8月10日(水)~13日(土)
詳細はHPで。

神奈川県民ホール

●オルガン 夏休み子どもスペシャル

8月6日(土) 14:00 〈小ホール〉

●夏休み子ども ミラクルサマーマリンバ

8月27日(土) 14:30 〈小ホール〉

※打楽器ワークショップの申込受付は終了しました。



「新☆夏休みオーケストラ」三ツ橋敬子(指揮)

©大杉華平



横坂源(チェロ)



「新☆夏休みオーケストラ!」ステージ上でオーケストラを聴こう! ©青柳聡



300回を越えています。

そしておなじみ、「KAAT the ツ

アー」。大切な衣裳がなくなったり、主演女優が失踪したり……。劇場でおくる様々なトラブルを解決すべく、観客が、劇場中に隠された謎を解く! という大人気の劇場体験型ナゾ解きゲームです。今年も子ども大人も楽しめる「for キッズ!」版の最新作「ゾンビ・パニック!? ~ヘアメイクさんにおこった奇妙な出来事~」をお届け。ゾンビミュージカルの舞台稽古中、カリスマ・ヘアメイクさんによる子どもたち向け「ゾンビメイク」のワークショップでトラブルが起きるといふ設定。普段入れない秘密の場所、客席、ホワイエから舞台裏まで、劇場中を歩き回りながら謎を解いていただきます。必要なのは勘やセンス、そして推理力。主人公は、あなた! です。

音楽堂では「夏休みオーケストラ」がリ

フレッシュスタート。数々の国際コンクールで、日本人初、女性初の優勝、入賞を飾り、その実力と音楽への真摯な姿勢が高く評価されている三ツ橋敬子が、神奈川フィルハーモニー管弦楽団を率います。コンサートの3日前からは、バックステージ・ツアーや公開リハーサル、舞台裏を支えるお仕事体験ができるスタッ

フ養成講座などを例年通り繰り広げるとともに、コンサート当日には指揮者体験、オーケストラと同じステージ上で音を聴いてみる体験などもりだくさんの内容です。「オーケストラの魅力」を心と体をめいっぱい使って味わってください。

県民ホールでは、小ホールを舞台に中味の濃いレクチャー&コンサート&ワークショップを開催。

「オルガン 夏休み子どもスペシャル」では、クイズや、オルガンと一緒に歌う楽しいコーナー満載のレクチャー&コンサートのほか、本物のオルガンに触ってみたり、音の出る仕組みがわかる模型の実演や、本物のパイプを吹く体験もできる体験コーナーも。「夏休み子どもミラクルサマーマリンバ」は、紙コップなどで手作りの打楽器を作るワークショップと、出演者と一緒に身近なもので演奏できるコンサートの2本立て。

豊かな物語や音の世界に、想像力の翼を思い切り羽ばたかせて劇場と音楽堂をお楽しみください。この夏を過ごした子どもたちの笑顔は、きっと少し大人びて見えるはず……。





KAAT×首藤康之によるダンスシリーズ
「DEDICATED」最新作

KAAT
KANAGAWA ARTS THEATRE

原作 / ウィリアム・シェイクスピア
演出 / 振付 / 中村恵恵
出演 / 首藤康之、中村恵恵、白井晃(声)

2016
10.1 SAT 18:00 / 10.2 SUN 15:00
KAAT 神奈川芸術劇場〈ホール〉

KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース

DEDICATED 2016 “DEATH” HAMILET

ハムレット

宣伝写真：操上和美
宣伝美術：八木崇晶 (FORM::PROCESS)

FOCUS

KAAT Dance Series 2016

KAAT 神奈川芸術劇場

KAAT×首藤康之によるダンスシリーズ第4弾！
『DEDICATED 2016 “DEATH” 「ハムレット」』
酒井幸菜、平原慎太郎の新作ダンス公演！

酒井幸菜

photo: Kentaro Shibuya



平原慎太郎

photo: SAKI MATSUMURA

KAAT Dance Series 2016

DEDICATED 2016 “DEATH” 「ハムレット」

2016年10月1日(土) 18:00・2日(日) 15:00 KAAT神奈川芸術劇場〈ホール〉

原作:ウィリアム・シェイクスピア 演出・振付:中村恩恵 出演:首藤康之、中村恩恵、白井晃(声)

全席指定 S 6500円 A 5000円 U24(24歳以下)3250円 高校生以下1000円 シルバー(65歳以上)6000円

塩田千春「鍵のかかった部屋」インスタレーション&ダンス・音楽プログラムより

酒井幸菜 新作公演 「I'm here, still or yet.」

2016年9月23日(金)~25日(日)〈中スタジオ〉

振付・出演:酒井幸菜

平原慎太郎 新作公演 「のぞき / know the key」

2016年9月30日(金)~10月2日(日)〈中スタジオ〉

振付・演出・出演:平原慎太郎 出演:東海林靖志、町田妙子、渡辺はるか、村井玲美



DEDICATED 2014 小野寺修二構成・演出「ジキル&ハイド」

©Tadashi Okochi

KAAT神奈川芸術劇場ではこの秋、様々なダンス公演を皆さまにお楽しみ頂けるよう、「KAAT Dance Series 2016」として、注目作品をラインナップしてお届けします。

その中からご紹介するのは、『DEDICATED 2016 “DEATH” 「ハムレット」』。

「DEDICATED」とは、「生涯を(捧げる)」という意味。バレエダンサー・首藤康之が、「ダンスを通して自分の想いを捧げることをコンセプトに、

2011年よりスタートさせたシリーズです。バレエダンサーとして第一線で活躍するだけでなく、俳優としても活動の幅を広げる首藤康之。共演の中村恩恵は、振付家・ダンサーとして国内外で活躍する中、これまでも積極的に首藤と創作活動を行い、『DEDICATED』にはシリーズ初演から関わっています。

『DEDICATED』は、初演以降、「IMAGE」(2012)、「OTHERS」(2014)とテーマを掲げ、それぞれのモチーフのもと作品創りをしてきました。前回の「OTHERS」では、主題である「他者」を糸口として、KAATの現・芸術監督白井晃が、サルトルの戯曲「出口なし」で演出として参加。また、小野寺修二構成・演出による「ジキル&ハイド」の2作品を上演し、好評を博しました。

そして、シリーズ第4弾となる今回は、「DEATH」II「死」をテーマに、ウィリアム・シェイクスピアの戯曲「ハムレット」を舞踊作品として舞台化します。日本でも数多く上演され馴染み深いこの作品に、今、焦点を当てる理由について、「今の社会への危機感からかもしれません」と語る首藤。「偉大な先人が残した美しい言葉を読み解きながら、今回のテーマである“死”に皆さま

と向き合っていきたい」として、戯曲に描かれた背景や登場人物の深層に迫るため、翻訳家・松岡和子氏のもと、原語に基づく戯曲解釈のワークシヨップも行いました。演劇のセリフによらない身体表現で、「ハムレット」のテーマや世界観をどのように舞台に立ち上げていくのか、試行錯誤と研究を重ね、新たな表現の境地を目指します。

また、同じく「KAAT Dance Series 2016」のプログラムとして、現代美術作家・塩田千春によるインスタレーション展示空間を舞台に、新進気鋭のダンサー・振付家として注目を集める、酒井幸菜と平原慎太郎による新作ダンス公演2企画を上演します。塩田千春は、昨年のヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展で、古びた鍵と赤い糸を張り巡らせた作品を発表し大きな話題となりました。今回はその凱旋企画として、「鍵のかかった部屋」と題し、KAATのスタジオ空間を活かした新作インスタレーションを展示します。現代美術と身体表現の融合が織り成す、新たなダンスの魅力もお見逃しなく。

このほかにも多彩な作品を上演予定です。詳細は公式ホームページをご覧ください。

音楽堂アフタヌーン・コンサート

山田和樹指揮「東京混声合唱団」特別演奏会
“歌い継ぎたい日本の歌”

2016年9月6日(火) 14:00 神奈川県立音楽堂

出演:山田和樹(指揮) 小林有沙(ピアノ) 東京混声合唱団

～柴田南雄 生誕100年・没後20年～

柴田南雄(作曲);萬歳流しー秋田県横手萬歳によるシアターピースー(1975)
上田真樹(作曲)・林望(詩);混声合唱とピアノのための組曲「夢の意味」
(2007年東京混声合唱団委嘱作品)

～歌い継ぎたい日本の歌～

- 春の小川(高野辰之作詞・岡野貞一作曲・上田真樹編曲)
 - みかんの花咲く丘(加藤省吾作詞・海沼実作曲・鷹羽弘見編曲)
 - 雨降りお月さん(野口雨情作詞・中山晋平作曲・篠田昌伸編曲)
 - 夏は来ぬ(佐々木信綱作詞・小山人作之助作曲・篠田昌伸編曲)
 - うみ(林柳波作詞・井上武土作曲・上田真樹編曲)
 - かもめの水兵さん(武内俊子作詞・河村光陽作曲・篠田昌伸編曲)
 - 幸せなら手をたたこう(スペイン民謡・木村利人作詞・鷹羽弘見編曲)
 - おもちゃのチャチャチャ(野坂昭如作詞(吉岡治補作)・越部信義作曲・鷹羽弘見編曲)
 - 里の秋(斎藤信夫作詞・海沼実作曲・三宅悠太編曲)
 - 故郷(高野辰之作詞・岡野貞一作曲・上田真樹編曲)
 - リンゴの唄(サトウハチロー作詞・万城目正作曲・篠田昌伸編曲)
 - 見上げてごらん夜の星を(永六輔作詞・いずみたく作曲・上田真樹編曲)
 - 蛍の光(稲垣千穎作詞・スコットランド民謡・上田真樹編曲)
 - 今日の日はさようなら(金子詔一作詞・作曲・篠田昌伸編曲)
 - 思い出のアルバム(増子とし作詞・本多鉄磨作曲・鷹羽弘見編曲)
- *曲目・曲順は変更になる場合があります。
- 全席指定 一般3500円 学生(24歳以下)2500円



小林有沙



山田和樹

©西巻平



東京混声合唱団

FOCUS

音楽堂アフタヌーン・コンサート
山田和樹指揮
「東京混声合唱団」特別演奏会
“歌い継ぎたい日本の歌”

神奈川県立音楽堂

世界を駆ける若きマエストロと
日本を代表する合唱団がおくる5年シリーズがスタート

混声合唱団。このコンビによる特別演奏会を、今年から5年間にわたって開催します。

1年目の今年は、“歌い継ぎたい日本の歌”と題し、「春の小川」や「おもちゃのチャチャチャ」など誰もが一度は耳にしたことのある、なつかしく、心があたたまる合唱名曲を中心に構成。『混声合唱団とピアノのための組曲「夢の意味」』では、本格的なコーラスをご堪能ください。

また、今年には作曲家・柴田南雄の生誕100年、没後20年にあたります。この記念すべき年に、日本の芸能に新しい息吹を与えた『萬歳流しー秋田県横手萬歳によるシアターピースー(1975)』をお届けします。現在では横手市での継承者が途絶え、合唱作品として唯一残っている『萬歳流し』を、当日は、ステージの上のみならず客席内も使って、お客さまを巻き込んでおくりします。

ピアニストには若手実力派の小林有沙を迎え、ピアノの音色と歌声のハーモニーをお楽しみください。そしてマエストロ・山田和樹の軽妙なトークにもご期待ください。

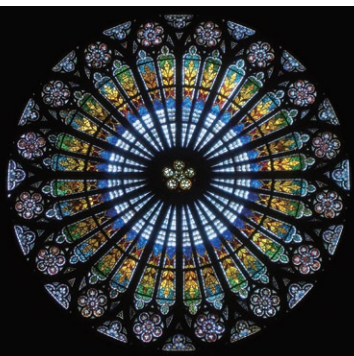
神奈川出身、世界を駆ける若きマエストロ・山田和樹と彼が音楽監督をつとめる日本を代表するプロの合唱団・東京

木のホテルと人間の声が共鳴し織り成す響きをご一緒に体感してください！





©Hiroshi Togo



廣江理枝

廣江理枝 オルガンリサイタル 聖なる歌、祈りの詩

神奈川県民ホール

日本を代表するオルガニストによる
祈りの音楽

パイプオルガン。首都圏の音楽ホールの多くに設置され、その生の響きを知る方も多いのではないだろうか。今はホールで広く親しまれるオルガンですが、その歴史はキリスト教とともにありました。古くは13世紀頃から今日に至るまで、礼拝で神に祈りを捧げる歌、神を讃美する歌と、人間の声に近い音色とされていたオルガンによる音楽は、とても重要な役割を果たしてきました。

神奈川県民ホールでの今秋のリサイタルを、廣江理枝は全曲「祈り」を軸に選曲しました。前半はホールに設置されたドイツ・クライス社製のオルガンの魅力を最大限に感じられる、バッハなどバロック時代の音楽を中心に「神から人間へ」のテーマをもった作品。後半はロマン派以降の、主に人間の苦しみ、哀しみを神に訴える祈りをテーマにしたオルガン作品です。

オルガンという楽器はいつの時代も「喜び」「哀しみ」「嘆き」「愛」「感謝」の祈りを、人々に寄り添って奏でてきました。敬虔な祈りを感じるコンサートになりそうです。

廣江理枝はフランス・シャルトル国際コンクールで優勝後、ドイツを拠点に演奏活動を行い、日本に帰国した現在も

世界中で活躍を続ける名オルガニストです。また、母校・東京藝術大学ではオルガン科の主任として後進の指導にあたり、多くの優秀なオルガニストを輩出しています。今回は同じ東京藝術大学の作曲科で教授を務める小鍛冶邦隆に委嘱した、バッハの「天にまします我らの父よ」BWV682に着想を得た新作初演も楽しみです。

初秋の午後、ひととき日頃の喧騒を忘れ、オルガンが奏でる祈りの音楽に浸ってはいかがでしょうか。

廣江理枝 オルガンリサイタル 聖なる歌、祈りの詩

2016年9月24日(土) 15:00 神奈川県民ホール(小ホール)

ギラン:「第2旋法の組曲」より 1.前奏曲 2.ティエルス・アン・タイク
4.パス・ド・トランペット

J.S.バッハ:コラール「天にまします我らの父よ」BWV682
(クラヴィア練習曲集第3部より)

小鍛冶邦隆:新作(神奈川県民ホール委嘱作品・初演)

J.S.バッハ:コラール「バルティータ「ようこそ、やさしいイエスよ」」BWV768

トゥルヌミール:「超越のいけにえ」によるコラール即興曲

ポエルマン:『ゴシック組曲』Op.25より「聖母マリアへの祈り」

リスト:バッハのカンタータ「泣き、嘆き、悲しみ、おののき」と

口短調ミサ曲「十字架につけられ」の通奏低音による変奏曲

デュリュフレ:アランの名による前奏曲とフーガ Op.7

全席指定 一般3000円(ペア5500円) 学生(24歳以下)2000円



-日伊修好150周年記念-
 ジャパン オルフェオ
歌劇「Japan Orfeo」

鶴岡八幡宮 特設会場(鎌倉)



©RYOICHI ARATANI



オルフェオ
 ヴィットリオ・プラート(リトトン)

補筆作曲
 沼尻竜典



指揮
 アーロン・カルベネ



演出
 ステファノ・ヴィツイオーリ



プロセルピナ
 宝生和英(能楽)



パッカスの巫女
 藤間勘十郎(日本舞踊)

17世紀初めに書かれたバロックオペラの名作。モンテヴェルディ「オルフェオ」が過去と現在、イタリアと日本の文化を繋ぐ架け橋となります！—— 豎琴の名手オルフェオは、亡き妻エウリディーチェを取り戻すため、冥界へと下りていく。音楽の力で神々の心を動かし、妻と再び出会えたオルフェオ。だが地上への途上に悲劇の落とし穴があった。「振り向いてはならぬ」という禁を犯し、愛する妻の顔を見てしまったのだ。再び闇へと戻る妻を取り戻すすべはなく、オルフェオは一人地上へと帰るしかなかった……— 日本

部早希子のエウリディーチェをはじめ日伊の古楽の名手たちが舞台を彩り、さらに、悲劇的な結末で知られる「1607年稿」の「幻の第5幕」を沼尻竜典が新たに補筆作曲。能の宝生和英と武田孝史、日本舞踊の藤間勘十郎によって演じられます。幻想的な光を放つレーザー・ハーブや、ミッソニーが特別にデザインした美しい衣裳も見どころ。日伊の総合芸術の粋が出会い、融合する一瞬。洋の東西を結ぶに似えの不思議な縁が、今ふたたび、精鋭たちの手で鮮やかに浮かび上がります！

2016年10月7日(金)・8日(土) 18:00
 鶴岡八幡宮 特設会場(鎌倉)
 全席指定 S 20000円 A 10000円
 ※未就学児童入場不可
 ※小雨決行:開催決定は、各公演日13時以降03-6853-9977まで問合せ。
 ※開催中止時の振替公演:
 10/11(火)19:00 東京芸術劇場
 席料の払戻はしません。
 チケット・お問合せ
 ヴォートル・チケットセンター
 03-5355-1280 (平日10:00~18:00)
 www.japanorfeo.com

KAAT de CINEMA
 「ハムレット」 「夏の夜の夢」

KAAT神奈川芸術劇場



「ハムレット」 ©Johan Persson

世界で上演された中でも、特に話題となった最高の舞台を上映する「ナショナル・シアター・ライブ」がKAATに登場。その名も、「KAAT de CINEMA」。今回はシェイクスピア没後400年を記念し、「ハムレット」(ベネディクト・カンバーバッチ主演)と、「夏の夜の夢」(キャサリン・ハンター出演)の2本を上映します。



2016年8月26日(金)~28日(日)
 <大スタジオ>
 全席自由
 一般3000円 学生2500円

音楽堂・伝統音楽シリーズ
 ひびき、あたらしー雅楽

神奈川県立音楽堂



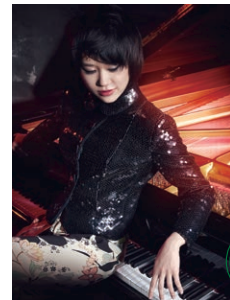
©青柳聡

1200年の伝統を紡ぐ雅楽の豊穡で鮮やかな音の世界と、そのひろがり、を、佐々木冬彦や山根明季子による現代作品も交えてご紹介します。秋の午後、木のホールのクリアな音響空間で、雅楽の魅力に触れるひとときをお過ごしください！

2016年10月1日(土) 15:00
 出演:東京楽所(管絃・舞楽)、伊藤えり(笙)、佐々木冬彦(箏・ハープ)、市坪俊彦(ヴィオラ)
 【管絃】越天楽 ~ 残楽三辺
 佐々木冬彦:その橋は天へと続く
 山根明季子:平成師楽(委嘱初演)
 【古典舞楽】承和楽 遠城楽
 全席指定
 一般4500円 特別ペア券(2名で)8000円
 学生(24歳以下)2000円

ユジャ・ワン ピアノ・リサイタル

神奈川県立音楽堂



©Norbet Knit

ピアノ界の若きカリスマ、ユジャ・ワンがこの秋、音楽堂へ3年ぶりに登場します。予告されているプログラムは、ショパンの対照的な2つの傑作ソナタ、そしてスクリャーピンの諸作とバラキレフ(変更の可能性あり)。日々進化するユジャ・ワン。その場でしか出会うことのできない鮮烈なステージにご期待ください。

2016年9月4日(日) 14:00
 全席指定
 一般7000円 学生(24歳以下)4000円

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会 県民ホールシリーズ

神奈川県民ホール



サッシャ・ゲッツェル
©Ozge Balkan



チャイコフスキー国際コンクールの覇者
上原彩子のピアノ、そして首席客演指揮者
サッシャ・ゲッツェルによるオーケストラ
名曲の豪華な午後をお楽しみください!

第9回 2016年9月22日(木祝) 15:00 (大ホール)
出演: サッシャ・ゲッツェル(指揮)、
上原彩子(ピアノ)
ムソルグスキー(リムスキー=コルサコフ編曲):
交響詩「はげ山の一夜」
プロコフィエフ: ピアノ協奏曲 第3番
ムソルグスキー(ラヴェル編曲): 「展覧会の絵」
全席指定 一回券料金
S 6000円 A 4500円 B 3000円

第26回神奈川オペラフェスティバル16(第1夜) オペラ・ガラコンサート

神奈川県立音楽堂



©青柳聡

神奈川ゆかりの歌い手を中心に豪華な
キャストと神奈川フィルの出演による夢
の饗宴。

2016年9月25日(日) 15:00
ヴェルディ:
歌劇『リゴレット』より「慕わしき御名」
歌劇『椿姫』より「プロヴァンスの海と陸」
レオンカヴァッロ:
歌劇『バリアッチ』より「鳥の歌」
プッチーニ:
歌劇『妖精ウィッリ』より「もしも小さな
花ならば」
グノー:
歌劇『ファウスト』より「宝石の歌」 他
出演: 上野正博(指揮)、
神奈川フィルハーモニー管弦楽団 他
全席指定 S 5000円 A 4000円
お問合せ: 神奈川オペラフェスティバル実行
委員会 045-316-5153 (10:00~15:00 土日火休)

「音楽のおくりもの」 チェンバロ・コンサート

神奈川県民ホール



©T.Kaneitwa



神奈川県民ホールが所有する楽器を紹
介する「チェンバロの魅力」シリーズの
講師、大塚直哉が推薦する、二人の若手
チェンバロ奏者によるフレッシュで繊細
なトークつきコンサート。ワンコインで
チェンバロの音色に親しむひとときを!

2016年9月9日(金) 14:00 (小ホール)
出演: 大村千秋(チェンバロ) 他
全席指定500円 休憩なし約60分

※速報「チェンバロの魅力V」
チェンバロ・お話し: 大塚直哉
2017年3月4日(土)開催決定!

横浜バレエフェスティバル2016 ~バレエの力が8.7にかながわへ集結!~

神奈川県民ホール

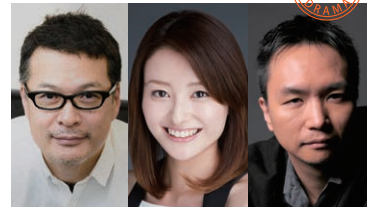


昨年、大好評をいただいた横浜バレエフェ
スティバル。多数の再開催を望む声に、
第2回公演を実施いたします! 日本中の
ニュースとなったローザンヌ国際バレエコ
ンクール1位受賞者2名も出演するフレッ
シャーズガラと世界トップレベルのダン
サーが出演するワールドプレミアムの2部
構成です。2時間半に詰め込んだバレエ
のエッセンスをぜひ!

2016年8月7日(日) 18:00 (大ホール)
全席指定 S 10800円 A 8640円 B 5400円
親子券 (B席2枚/一般+4歳~中学生) 6480円
※公演のチケットで7/22オーディション(ファイナ
ル)の無料観覧可

葛河思潮社 第五回公演 「浮標」

KAAT 神奈川芸術劇場



田中哲司 原田夏希 長塚圭史

生活の困窮、芸術の危機、最愛の妻の病苦。
「死」と隣り合わせの状況にあって、それだ
も尽きない「生」への執着——。画家・久我
五郎の生き様を通して“人間”を苛烈に描
き抜いた三好十郎の長編戯曲を、2011年、
12年の上演を経て、この夏三度目の上演。

2016年8月4日(木)~7日(日) (大スタジオ)
作: 三好十郎 演出: 長塚圭史
出演: 田中哲司、原田夏希、佐藤直子、
谷田歩、木下あかり、池谷のぶえ、
山崎薫、柳下大、長塚圭史、
中別府 葵、菅原永二、深井大輔
(戯曲配役順)
全席指定 一般6500円
U-25 (25歳以下) 4000円 高校生以下2000円

第52回 神奈川県美術展 全国公募

神奈川県民ホール



第52回をむかえる神奈川県美術展はさ
らなる活性化をめざし、今年から全国公
募となります! 皆様のご応募・ご来場を
お待ちしております。

〈ギャラリー〉
応募作品搬入
2016年7月16日(土)・17日(日) 10:00~16:00
展覧会
1期展 [平面立体] 8月31日(水)~9月11日(日)
2期展 [工芸・書・写真]
9月14日(水)~9月25日(日)
入場無料
※応募要項はWEBからダウンロード

知れば、
知るほど、
好きになる

演劇の小箱

舞台メイク

舞台メイク。それは通常のメイクとは違い、美しくなるためだけにするものではありません。役柄にあわせ、場合によっては醜くなるために化粧をします。美醜だけでなく、若さや老い、逞しさや虚弱さ、さらには誠実さや腹黒さといった性格までも表現します。舞台メイクによってキャラクターがしっかりと設定され、役者の演技を後押しする。そんな効果も大きいのです。反対に、メイクの出来が悪ければ、どんな名演技も魅力半減、台無しです。メイクでキャラクターの幾ばくかが決まってしまうこともあり、メイクアップ・アーティストと演出家との事前の打ち合わせは必須です。

しかし、舞台公演にプロのメイクアップ・アーティストが入るようになったのはこの30数年のこと。バレエや演劇はまだほとんどがセルフ・メイクです。



東京バレエ団 ドン・キホーテ公演より ガマーシユ

以前は演劇、バレエ、オペラなど、海外の作品が多いことから、西洋人ばく見せるために、鼻は高く（ノーズシャドウ）、目は大きく（ブルーのアイシャドウなど）といったメイクでしたが、最近はより自然なメイクが主流となりました。

それでも、皺や傷の表現、さらには付け眉や付け鼻など、舞台メイクだからこそ大胆な表現があります。それらがより発展し、ラテックス（特殊ゴム素材）やシリコンなどで作られたパーツを顔や体に貼り付ける特殊メイクが生まれました。

協力：星野安子（メイクアップ・アーティスト）

楽器ミュージアム

雅楽の管楽器、吹物

平安時代の宮廷音楽に由来し、現存する世界最古の合奏音楽といわれる雅楽。その演奏の中心は3種の「吹物（管楽器）」です。

「箏」は、この中で最も小さいのですが音は最も大きく、主旋律を担います。音域は1オクターヴほどと狭く表裏にある指穴を開閉して音高を変えますが、吹き方だけで音高を微妙に変化させる「塩梅」という奏法を用いて旋律に豊かな表情をつくり出します。

横笛の龍笛は、2オクターヴと広い音域で細やかな旋律を吹き、主旋律を彩ります。

鳳凰の姿を模したといわれる笙は、匏というお椀に17本の細長い管を差し込んだ楽器です。匏の横にある口から息を入れ、5、6本の管から同時に音を鳴らして和音（合竹）を響かせ、旋律を支えます。

笙の音は鳳凰が住む「天」からの声とされ、箏は人の住む「地」の声、龍笛は「天」と「地」を行き交う「龍」の声を表わすとされてきました。吹物の響きには、壮大な宇宙が託されているのです。

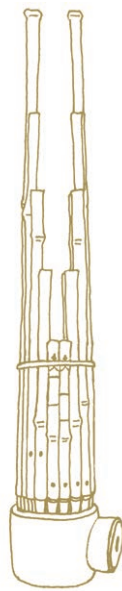


龍笛 長さは40cm程の竹製で、七つの指穴があります



箏

18cm程の竹管に葦をつぶした6cm程の舌を差し込んで吹きます



笙

直径7cm、高さ50cm程。竹管の根元には金属製の舌が付いています



イラスト：遠藤裕喜奈

ジョン・エヴァレット・ミレー 「オフィーリア」

1枚の絵が、文学・演劇作品のキャラクターのイメージを決定してしまう。そんな傑作があります。ジョン・エヴァレット・ミレーの「オフィーリア」。シェイクスピアの悲劇「ハムレット」のヒロイン、オフィーリアの死の場面を描いたラファエル前派を代表する絵画作品です。

鮮やかな色彩で描かれた細密な川辺の自然描写。間近に迫る自らの死を知ってか知らずか、恍惚とした表情で歌を口ずさみ、川面を漂うオフィーリア。女優ローレンス・オリビエは、監督・主演した映画「ハムレット」(1948)の一シーンで、この絵をそっくり再現しています。

オフィーリア。復讐のために狂気を装うハムレットに捨てられ、ついに正気を失い、事故か自殺か判然とせぬかたちで、川に落ち溺れてしまう。ミレーの絵がオフィーリアのイメージを決定づけたように、この絵のモデルをつとめたエリザベス・シダル(1829～1862)の人生は、この後まるでオフィーリアの物語のように展開するのです。

痩せた長身、赤毛にももの憂げな青い瞳、繊細で儂げな姿。シダルは当時の一般的な美人の範疇には入らない新

しいタイプの女性でしたが、だからこそラファエル前派のミューズとなります。その後、同じラファエル前派の画家で詩人のダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ^{*}と婚約します。

ロセッティは婚約後も浮気をかさねます。それでもシダルは一途な愛を貫き、8年後の1860年についに結婚。しかし、ロセッティの浮気は止まず、弟子であるウィリアム・モリス^{*}の妻ジェーンなど、多くの女性との関係が続けます。シダルは次第にアヘン・チンキを常用するようになります。そして、結婚2年目に妊娠。これでロセッティの浮気も収まるかと思われましたが、不幸にも死産してしまいます。その直後に、アヘン・チンキの過剰摂取のために32歳で死亡。オフィーリアと同じく事故とも自殺とも判らぬ若過ぎる死でした。

ジョン・エヴァレット・ミレー John Everett Millais (1829～1896)
19世紀イギリス・ヴィクトリア朝の画家。学生時代にラファエル前派を結成。古典主義偏重の価値観に異議を唱え、イタリア・ルネサンスの巨匠ラファエロ以前の美術を範とした。代表作は「オフィーリア」、「初めての説教」など。

^{*}ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ(1828～1882):画家・詩人。ラファエル前派のメンバー。代表作は絵画「ベアタ・ベアトリクス」。

詩人としては明治の日本文学に多大な影響を与え、上田敏「海潮音」に複数収録される。

^{*}ウィリアム・モリス(1834～1896):イギリスの詩人、デザイナー。大量生産に対抗し、職人の手技を復活させ、生活とアートの統一を提唱する。

住所：神奈川県横浜市中区伊勢佐木町1-6-2
不二家横浜センター店
交通：JR根岸線・横浜市営地下鉄線「関内」駅北口から徒歩5分
設計：アントニン・レーモンド
竣工：昭和12年(1937年)



あまりにモダンな竣工当時の不二家伊勢佐木町店
写真提供：(株)不二家フードサービス

WEB
+a!

*インターナショナル・スタイル：
バウハウスやCIAM（近代建築国際会議）が主導した近代建築の様式。形は機能により決定され、地域などの特殊性を越え、世界的に統一された様式を目指した。
*アントニン・レーモンド(1888～1976)：
チェコ生まれのアメリカ人建築家。帝国ホテル建設のためにフランク・ロイド・ライトの助手として来日。ライト離日後も日本に留まり、その影響から離れ独自の道を歩む。代表作は、旧不二家伊勢佐木町店、旧ライジングサン石油会社社宅（現・フェリス女学院大学10号館）など。
*歴史主義建築：
過去の建築様式を参照した建築スタイル。18世紀～19世紀初頭のヨーロッパで流行。教会はゴシック、公共建築はルネサンスなど、用途にあわせて様式を選択した。

伊勢佐木町の不二家ビルを知らない人はいないだろう。ビル前面の連続する大きな窓枠の格子が水平ラインを構成し、左側一面に張られたガラス・ブロックが垂直ラインを構成する左右非対称のデザイン。インターナショナル・スタイルとも称されたモダニズム建築。巨匠アントニン・レーモンド*の代表作だ。
では、このビルがいつ建てられたのかわっている人はどれだけのいるだろうか。高度成長期の1960年代？いいえ、実は昭和12年（1937）なのだ。
不二家ビルを見て、戦前の建築だと思う人はいないのではないか。その先進性は、同時代に建てられた建築と比べれば、一目瞭然だ。例えば、海岸通に建つ横浜郵船ビル（1936）。古代ギリシャ式の列柱が16本並び、日本を代表する歴史主義建築である。この重厚な建築と不二家ビルの竣工には1年の差しかないのだ。
あまりに先進的で「古さ」を感じさせないが故に、その価値が見えにくい名建築。当時、伊勢佐木町が、日本中の何処よりもモダンな街であることを印象つけた不二家ビル。戦災を免れ、GHQに接収されても、しぶとく生き抜いてきたこの名建築を伊勢佐木町が誇るシンボルとして、これからも愛し続けて欲しい。
(談)

山本理頭の
街は
舞台だ

先進的であるがゆえに、その価値が見えにくい名建築
不二家横浜センタービル



いまでも古さを全く感じさせない不二家横浜センタービル



にぎわう昭和15年（1940）頃の伊勢佐木町。右手奥に不二家が見える
所載：横浜都市発展記念館



歴史主義建築の王道を行く横浜郵船ビル。
所載：横浜市中央図書館

1945年生まれ。71年、東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻修了。東京大学生産技術研究所原研設計工場を設立。2007年、横浜国立大学大学院教授に就任（～11年）。11年、横浜国立大学大学院客員教授に就任（～13年）。



©Jake Walters

企画・監修：山本理頭 建築家

かながわ
芸 ● 能
歳時記

古い様式を今に伝える

吉浜 鹿島踊り

(湯河原町吉浜／素鷲神社／8月)



古式ゆかしい装束の踊り手たち

*神輿渡御：祭礼にてご神体を神輿に移し、氏子地域内の巡幸、お旅所へお渡りする。し。し。
*白張：「しらはり、しらはり」とも読む。平安時代の下級官人の衣装。

住所：神奈川県足柄下郡湯河原町吉浜1056
交通：JR「湯河原駅」から箱根登山バス「真鶴」行き「海の家」下車
日時：毎年8月1日 神事9:00頃～ 鹿島踊り10:00頃～
お問合せ：青木通泰（鹿島踊り保存会会長）090-4709-8967

吉浜の鹿島踊りは、湯河原町吉浜の素鷲神社の祭礼で、毎年8月1日に、神輿渡御に先だつて境内で奉納されます。疫病を払い、大漁と豊作、この地方の産業である石材産出とその海上輸送の安全を祈願し、約500年にわたり続けられてきました。小田原市根府川から東伊豆北川の相模湾沿いに残る鹿島踊りの中でも比較的古い様式が残るとされており、国の選択無形民俗文化財および県の無形民俗文化財に指定されています。

踊り手は古式ゆかしく白張を着て、烏帽子をかぶり、右手に扇、左手に幣束を持ち、白足袋に白緒の草履を履きます。ほかに太鼓役一人、鉦役二人、日形・月形・黄金柄杓の役がそれぞれ一人おり、5列の25人が定型です。さらに袴をつけ青竹をもった警護役が4人つきます。太鼓と鉦の囃子と歌にあわせ、円舞から方舞へと陣形を変化させながら踊ります。

監督：神奈川県民俗芸能保存協会会長 石井一朗
協力：鹿島踊り保存会
写真提供：鳥袋文雄（鹿島踊り保存会相談役）



more! カナガワ

神奈川県立近代美術館 葉山

企画展 クエイ兄弟—ファントム・ミュージアム—

双子のクエイ兄弟(1947～)は、1979年以降コラージュ、ストップ・モーション、実写、特殊効果を組み合わせたアニメーション、長編映画、ミュージック・ビデオなど多数の動画作品を制作。また、オペラ、演劇等の舞台装置やプロジェクション、インスタレーション作品などを制作してきました。クエイ兄弟の世界を本格的に紹介。

2016年7月23日(土)～10月10日(月・祝) (祝日を除く月曜休館)
www.moma.pref.kanagawa.jp TEL.046-875-2800

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会 みなとみらいシリーズ第321回

2016年8月27日(土) 14:00 横浜みなとみらいホール
指揮：小泉和裕(特別客演指揮者) 共演：若林 顕(ピアノ)
プログラム：ピアノ協奏曲第1番
シューマン：交響曲第4番
S 6000円 A 4500円 B 3000円(各種割引あり)
www.kanaphil.or.jp TEL.045-226-5107

神奈川近代文学館

企画展 絵本作家・西村繁男の世界展—やこうれっしゃで出発!

身近な風景を細部まで描き込んだ絵本で子どもから大人までを魅了する西村繁男。絵巻物の手法に学んだというその作品は、鳥瞰の視点に読み手を導き、画面に登場する大勢の人々や生き物たち、街や自然の光景からいくつものストーリーをイメージする楽しさを味わせてくれます。作品の魅力『やこうれっしゃ』『おふるやさん』『ようちえんがばけますよ』などの原画を中心に紹介します。

2016年7月23日(土)～9月25日(日) (9/19除く月曜休館)
www.kanabun.or.jp TEL.045-622-6666

神奈川県文化課

サマー・マガル・フェスタ2016

サマー・マガル・フェスタ2016は、7～9月にかけて県立青少年センターで、ミュージカル・演劇・伝統芸能等、舞台芸術関連のイベント全14公演で、舞台芸術の魅力を幅広くご紹介するものです。8月14日「かながわミュージカルサミット」、8月20日・21日ミュージカル「バイトSHOW～青春篇～」など、もりだくさんです。
www.magcul.net/summer-magcul-festa-2016 TEL.045-210-3806

My Roots My Favorites

塩田千春
(現代美術家)



©サニー・マンク

私にとって作品を作ることは、
生きていくために必要な行為。

WEB
+a!

幼少期は隣家が離れていて、まわりに子供が少なかったこともあり、よく一人で泥をこねたり、草花をとっては並べて遊んでいました。自然の中に土で作った人形や石を置き、そのまわりに花を飾り、葉っぱを集めて置く。私とそのものとの間にある秩序だけで世界ができていくことが好きで、そこで行われる儀式や会話で一日を過ごしていました。誰に見せることもなく、私だけの世界を自然の中に作ることで毎日を過ごしていました。

絵を描き出してからは、いつも没頭して描いていました。一日中、描いていても何の苦にもならなかった。でも、美大に入った頃から、画面の中だけでどのように描けばいいかが分かってしまい、私の絵には何処にも私が生きるための意味がないと考え始め、描くことが苦しくなりました。アートのためにアートを作るのではなく、もっと自分らしいマテリアルで作品を作りたい。もっと人間が生活の中でアートを必要とする意味が知りたくて、大阪にある民族博物館をよく訪ねていました。

その頃からインスタレーションを作っています。インスタレーションの魅力は、一瞬にして人の心に何かを訴えられることです。私は、それを「瞬間の哲学」だ

と思っています。人が会場に入ってきた瞬間に、生きることの意味を教えてくれるのです。

一つの作品を見た時、その作家の人生はもちろん、見る人自身の人生も見えてくる。芸術作品を見ることで、私たちはある種の共感を手にするのです。美術作品に触れることによって、人は言葉では表現できない何かを理解し感動して、また日々の生活を頑張ろう、と思うのではないのでしょうか。小さい時から人とうまくコミュニケーションがとれず、自分の言葉がうまく伝わらない時、そこにはいつも私を表現できる絵やインスタレーションなどの美術があった。私にとって作品を作って展覧会で発表することは、物心ついた5歳の時から始まっている、生きていくために必要な行為なのです。(談)

塩田千春 Chiharu Shiota

ベルリン在住。生と死という人間の根源的な問題に向き合い、「生きることとは何か」、「存在とは何か」を探究しつつ大規模なインスタレーションを中心に、立体、写真、映像など多様な手法を用いた作品を制作。2007年、神奈川県民ホールギャラリーでの個展「沈黙から」で芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。2015年、第56回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展の日本館代表作家として選出され、現在も世界各地で展覧会を開催している。www.chiharu-shiota.com

REVIEW

KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 「夢の劇-ドリーム・プレイ-」

2016年4月12日(火)～30日(土) KAAT神奈川芸術劇場〈ホール〉

原作:ヨハン・アウグスト・ストリンドベリ 構成・演出:白井 晃 台本:長塚圭史
美術:小竹信節 振付:森山開次 作曲・編曲・演奏:阿部海太郎、生駒祐子、清水恒輔、トウヤマタケオ
出演:早見あかり、田中 圭、江口のりこ、玉置玲央、那須佐代子、森山開次/山崎 一、長塚圭史、白井 晃、久保貴太郎、今里 真/宮河愛一郎、高瀬瑠子、坂井絢香、引間文佳



Photo: 二石友希

KAAT芸術監督・白井晃の就任第一作として上演された「夢の劇-ドリーム・プレイ-」。ストリンドベリが描いた混沌とした夢の世界の舞台化に、豪華キャスト・クリエイター陣が挑みました。臨場感溢れる、客席が三方囲みの特設ステージで繰り上げられたのは、音楽、ダンス、美術、文学の境界が溶け合うような幻想的な舞台。本格的な舞台初出演、そして初主演となる早見あかり演じる神の娘アグネスの透明感と存在感も、観客に強い印象を残しました。

世界と人間の不条理を描きつつ、肯定と救いを思わせる作品に、「人間は哀れだが、それだけでないのもまた人間だと思えた」との声が多く寄せられ、KAATの新たなシーズンの幕開けに今後への期待が高まる作品となりました。



お客様の声

どんな人間にも善と悪が内包されていて、それがゆえの苦悩。やっかいなものがつきまといっている。なのに生きていくって……。深いテーマだなと思いました。また、音楽、ダンス、舞台装置、全てすばらしかったです。実に「夢」というものをよく表しているなあと思いました。(40代女性)

プレビューを見て、どうしてもお芝居のことが頭から離れず、新たにチケットを買って見に来ました。ずっと自分を苦しめていた人生の重荷が何だったのかに気付かされる内容に、胸が打たれます。様々なジャンルのアートが交錯する舞台はとても魅力的でした。(50代男性)

公益財団法人神奈川芸術文化財団をご支援いただいている方々

公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員制度を始めとしたさまざまなご支援の仕組みを通じて、広く皆さまからご寄附・お力添えをいただいております。

公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員

法人賛助会員 株式会社アクトエンジニアリング/株式会社浅岡装飾/アサヒビール株式会社/アズビル株式会社/学校法人岩崎学園/株式会社ヴォートル/株式会社エス・シー・アライアンス株式会社NHKアート/株式会社勝烈庵/公益財団法人神奈川興結核予防会/神奈川県信用保証協会/株式会社神奈川孔文社/株式会社神奈川保健事業社/神谷コーポレーション株式会社カヤバシステムマシナリー株式会社/川本工業株式会社/かをり商事株式会社/株式会社共栄社/株式会社KSP/株式会社合同通信/コトブキシーティング株式会社株式会社サンナイオートメーション/株式会社シグマコミュニケーションズ/株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局/株式会社清光社/株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ月島機械株式会社/株式会社テレビ神奈川/東工株式会社/ナイス株式会社/株式会社日建設計/日産自動車株式会社/日生商工株式会社/日総ブレイン株式会社/株式会社野毛印刷社パナソニックESエンジニアリング株式会社/平安堂薬局/株式会社ホテル、ニューグランド/一般社団法人本牧関連産業振興協会/丸茂電機株式会社/三沢電機株式会社森平舞台機構株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社/株式会社有隣堂/株式会社豊商會/株式会社ユニコーン/株式会社横浜アーチスト/横浜新都市センター株式会社横浜信用金庫/弁護士法人横浜/パートナー法律事務所/横浜ビルシステム株式会社/株式会社ワイイーソリューションズ(匿名:3社)

永年個人賛助会員 江田眞子/川村恒明 **個人賛助会員** 岩間良孝/大島正博/岡田博子/黒瀬博晴/橋本尚子(匿名:1名)

協賛・協力

能舞台協賛 ナイス株式会社

協力 神奈川総合設備株式会社/神奈川トヨタ自動車株式会社/崎陽軒/株式会社東芝/株式会社野毛印刷社/野村證券株式会社横浜支店/株式会社富士住建/三菱地所株式会社

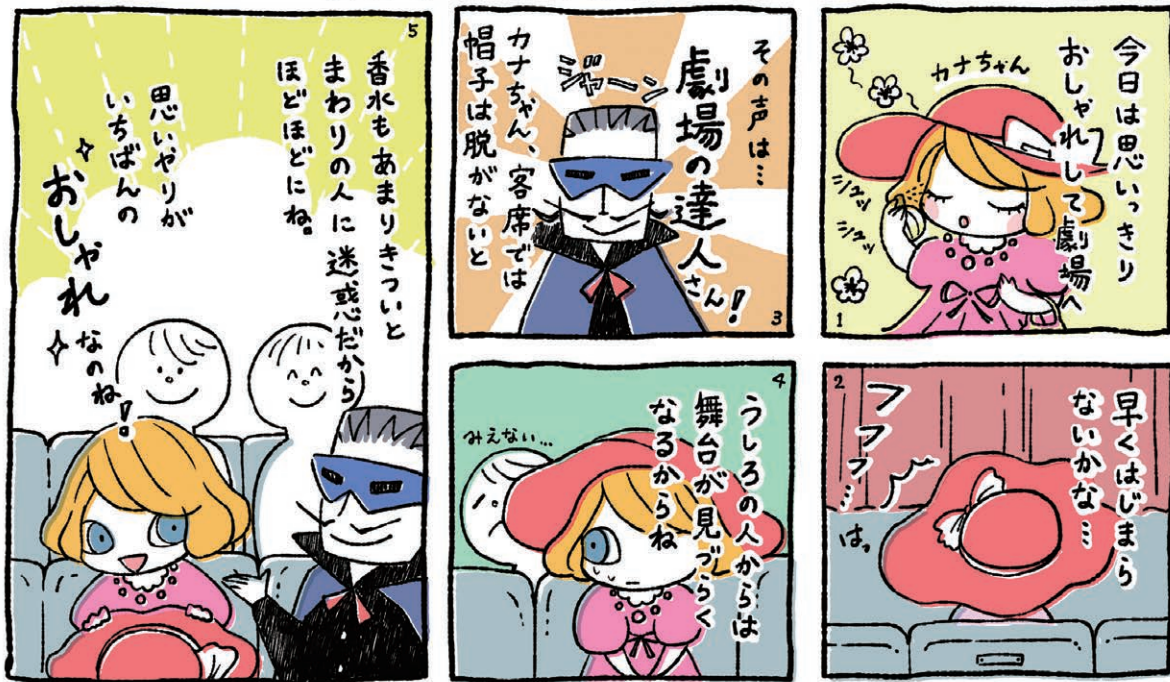
(敬称略 2016年6月20日現在)

ご寄附・ご協賛・ご協力のお申込み・お問合せ: 本部経営企画課 045-633-3760 www.kanagawa-arts.or.jp/support/

劇場の達人

「みんなが舞台を楽しむために！」

え・ユキナ



Kame かながわメンバーズ
KANAGAWA members
登録はWEBで! www.kanagawa-arts.or.jp/kame
登録無料!
チケットの先行予約が可能。
メルマガ無料配信

神奈川芸術プレスはここに 있습니다。
神奈川県内の主な公共施設の情報コーナー、首都圏の公共ホール・公立図書館・博物館・書店・銀行等に配架しております。
WEBでも読めます! www.artspress.jp

MAGCUL 神奈川県発、文化発信ポータルサイト
MAGCUL マグカル ドット ネット
MAGCUL.NET
MAGCUL PROJECT HANANO

ご支援のお願い

公益財団法人
神奈川芸術文化財団

皆様のご支援が、
神奈川の文化と芸術を支える糧となります。

公益財団法人 神奈川芸術文化財団は、神奈川県民ホール、KAAT 神奈川芸術劇場、神奈川県立音楽堂を運営し、音楽・演劇・オペラ・ミュージカル・ダンス・伝統芸能の公演、美術展などの幅広いプログラムをお届けしています。これからも神奈川県内の文化・芸術を振興するとともに、神奈川から文化の発信を行なってまいります。皆様のおたかご支援をよろしくお願い申し上げます。

賛助会員
(法人・個人)

年間を通じて財団の事業全般にご賛助。

個別協賛
(法人・個人)

特定の公演等に対してご協賛。

広告スポンサー

主催公演のチラシや当日プログラム、「神奈川芸術プレス」などへの広告。

団体鑑賞

主催公演のチケットを福利厚生・販売促進等ツールとして。

弊財団への賛助会費(寄附金)には、税制上の優遇措置があります。

詳細・お申込み・お問合せ | 公益財団法人神奈川芸術文化財団 本部経営企画課 〒231-0023 横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル6階
電話:045(633)3760 FAX:045(663)3714 www.kanagawa-arts.or.jp/support/

撮影: 本多康司

編集後記

神奈川の建物や街並みを語る「街は舞台だ」。取材で飲んだ伊勢佐木町・不二家のクリームソーダは横浜モダンを創った先人の心の味。歴史を語る写真をぜひWEB版で。(井) 今号は夏休み期間中ということで、キッズ&ファミリー企画が満載です。気軽だけど、本格的な企画が目白押し。劇場デビューの季節到来です。(倉)